

昆虫博士キャンプ②

- 開催日 2019年7月28日～7月30日
- 会場 国際自然大学校日野春校
- ディレクター名 小島菜奈子（ぴけ）

■キャンプのねらい

●昆虫採集を通じて、昆虫や野生動物の生活や、自然と命のつながり、尊さを知る。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

ばるさん、ほっそー、アポロ
いちむー、こばりん、ちゃい
あんどりゅー、いっちー、ゆず

■活動内容

<1日目>
集合、移動
日野春到着
トラップづくり
ライトトラップ観察

<2日目>
トラップチェック
一般採集
オオムラサキセンター見学
トラップづくり

<3日目>
トラップチェック
一般採集
山分けタイム
移動、解散



日野春校に到着！まずは昆虫博士にトラップ液のことを教わります。



トラップ液が完成したらさっそく設置です。



夜はお楽しみのライトトラップ。みんな夢中になって観察です。



その後は夜のトラップチェックへ行きました。



喜びの歓声と落胆のため息が入り交じる時間です。



2日目。朝は早起きしてトラップチェックからスタートです。



捕まえたカブトムシを囲んで、みんなで喜びを分かち合います。



たくさん活動して食欲旺盛！よく食べる子どもたちでした。



日中は各自が自由に虫捕りをする「一般採集」の時間です。



捕まえた生き物はみんなで観察します。



2日目午後はオオムラサキセンターへ見学に出かけました。



昆虫の展示に興味津々。じっくりと見て回っていました。



夕方には翌朝に備え、トラップ液を追加してまわりました。



最終日。スタッフも驚きの大収穫！



多い班は3日目だけで19匹ものカブトムシを捕まえました。



友だちとの仲も深まり、一般採集も連れ立って楽しんでいました。



虫との別れの時。名残を惜しみながら放したカマキリです。



連れて帰ると決めた昆虫たち。責任を持って育ててくださいね。

■キャンプのエピソード

「子どもも昆虫も虜のライトトラップ」

1日目の夜に行ったライトトラップ。夜の森で煌々と輝くブラックライトや蛍光灯、白熱電球の光にたくさんの小さな虫が集まってきます。毎年大人気プログラムです。

『これ以上は機材が近いから近づいてはダメ』と伝えたラインを越えて、じわりじわりとトラップに近づく子どもたち。スタッフが『約束を守って!』と声をかけます。しかし、昆虫に対する意欲が理性を越え、知らず知らずのうちに前のめりになっていました。

センチコガネ、オオミズアオ、沢山のガ、クロカミキリ、ノコギリクワガタ…「これ何?あれ何?」と目をキラキラさせて見入っていました。好きな物に真っ直ぐなその姿勢を、これから大切にしてほしいです。

「大興奮のトラップチェック」

2日目の夜、ライトトラップを中止するくらいの強い雨が降りました。日中頑張って活動した子どもたち。疲れた体を休めるにはちょうどよかったですが、「トラップ液が雨で流れちゃうかも…」と心配そうな様子で眠りにつきました。

しかし、翌朝トラップには沢山のカブトムシが…! 群がった重さでトラップが落ちてしまったため、ボロボロになったトラップに5匹ものカブトムシがついたところもありました。早起きで寝ぼけた様子だった子どもたちに一気にスイッチが入り「いたよー!」「あっちにもいる!」と大興奮。「〇〇班のトラップにカブトムシいたよ!」と教え合う様子も見られ、虫好き同士の友情も深まった3日間でした。